

留 学 報 告 書

記入日:2013年9月28日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	スウェーデン
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	リンショーピン大学 Linköpings universitet
留学期間	2012年8月～2013年6月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	教養学部(arts and sciences)
帰国年月日	2013年6月14日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留 学 先 大 学 について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬から1月中旬 2学期:1月下旬から6月上旬
学生数	26,500人
創立年	1969年

留学費用項目	現地通貨(SEK)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため明治大学に学費を納めていました。
宿舍費	27,000	378,000円	
食費	30,000	420,000円	
図書費		円	
学用品費	1,500	45,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	
渡航旅費		円	
雑費		円	
その他		円	
合計	58,500	819,000円	

渡航関連

渡航経路: モスクワ・カタール	
渡航費用	
チケットの種類	
往路	87,000 円
復路	65,000 円
合計	152,000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
行きはロシア航空、帰りはカタール航空を使いました。チケットはスウェーデンで買ったほうが安いので往復チケットではなく片道のチケットで買ったのはよかったですと思います。	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
寮(8人で1キッチンシェア)
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)住居を探した方法:
基本的には大学が用意してくれるので、渡航前に大学から来るメールにきちんと返信すれば大丈夫です。
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
個人の部屋は大きく、過ごしやすいです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
留学生用のオフィスがあるので何か問題があればそこに相談すればいいと思います。自分はスウェーデン人の友達などにも相談しました。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
自転車の盗難は非常に多くありましたが、ロックをきちんとすれば大丈夫だと思います。基本的には非常に安全なところで、日本で生活するのと大差ない感覚で過ごせると思います。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮で自分の部屋にインターネットを通すことができますし、大学でも WIFI を使うことができます。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
クレジットカードを使って生活していました。スウェーデンではカードがどこでも使えるのでカードで生活できます。ただ友達と一緒に払ったり何かとキャッシュも必要なので、自分は新生銀行のカードでキャッシュも引き出せるようにしていました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
変換プラグはパソコン充電などに必要なので持っていくべきだと思います。携帯ももしシムフリーの携帯を持っていれば持っていくと便利です。あちらでも安価で携帯を買うことができますがやはりかなり性能が劣るものになるので、普段使っているようなスマートフォンをあちらでも使えるようにしておくとだいぶ便利だと思います。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
不動産賃貸仲介の会社で働きます。外国部があり海外の方と触れ合う機会が多く持てる点に惹かれて選びました。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
自分は4年で留学したので、留学に行く前に説明会などには足を運んでいました。結果としては自分が予想していなかった会社に入社することになりましたが、やはり行く前にある程度イメージを持っておくこと、どのような流れで就職活動をするのかを分かっているといいと思います。留学後の就職活動では、競う人は基本的には留学経験者なので留学経験を武器にすることは難しいはずですが、留学以外で何か自分の武器となるものが必要だと思います。就職活動はきちんとやれば何とかかなと思います。やはり門は普通の人より狭いと思うので正直厳しいです。一方で留学経験がある学生が社会的に求められているということも感じられると思いました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
37.5 単位(ECTS)	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Business	国際経済
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences
履修期間	11月～12月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義が何回もあり、あとはグループワークとプレゼンテーションがありました。 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が3回
担当教授	
授業内容	国際経済の理論などを少しやったあと、4人程度のグループに分かれてグループワークを行いました。個人のレポートが一回、グループでのレポートが二回、グループでのプレゼンテーションが3回ありました。
試験・課題など	3回目の試験で何とかパスしました。課題も多くプレゼンも多かったのにテストもとても難しく、厳しいものでしたが、達成感が一番あった授業だと思います。
感想を自由記入	自分が初めてヨーロッパに来たと感じられた授業でした。授業数は多くありませんが課題が多いからで、ほぼ毎日グループメイトと会って計画を練り、家に帰ったら本を読み、文章を書く作業が続きました。プレゼンテーションも当日に課題を配られ、話し合い後すぐにみんなの前でプレゼンなど、自分的にはかなり厳しい授業でしたが、グループメイトとはとても仲良くなりましたし、やりがいがある授業でした。アジア人が自分だけという環境もこの授業だけだったので新鮮でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intensive Swedish Course		スウェーデン語集中講座	
科目設置学部・研究科			
履修期間	8月～9月		
単位数	7.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に360分が5回		
担当教授			
授業内容	スウェーデン語の基礎を学ぶ授業です。毎日朝から午後まで授業がありました。		
試験・課題など	普通にやっていたら大丈夫です。		
感想を自由記入	初めて授業で、しかも英語で新しい言語を学ぶことは簡単なことではなかったです。ただこの授業を通して本当に多くの友達ができましたし、それらの友達は1年間を通してとても重要な友達だったので、本当にとって良かったと思っています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Artistic Methods in Education		芸術は教育においてどのように活用できるか	
科目設置学部・研究科	Education		
履修期間	4月～6月		
単位数			
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義と実演など(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授			
授業内容	即興で劇を作ったり、自分たちで演技したりしました。		
試験・課題など	最後の授業でグループで劇を披露しました。		
感想を自由記入	演じるということをしたことがなかったので、とても貴重な経験になりました。またヨーロッパの学生と何かを一緒に作るという経験ができたことが、自分にとってとても貴重な経験となりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Business English		国際ビジネス英語	
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences		
履修期間	1月～5月		
単位数	15		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1～2回		
担当教授			
授業内容	文法・ディスカッションと2コマに分かれていました。小説を読んで話し合ったり、お題を言われてそれについて調べてきてディスカッションしたり、企業を一つ選んで発表したりと、ディスカッション・プレゼンテーション・グループワークなど多くのことを体験できる授業でした。		
試験・課題など	論述と文法知識を問うテストでした。		
感想を自由記入	課題が多く、また発表などの機会も多かったので緊張したり苦戦することが多く、自分の力となった授業だと思います。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):	
Human Resorce Management/ Global Challenge		人材管理論	
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences		
履修期間	12月～1月		
単位数	7.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	プレゼンテーション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に420分が4回		
担当教授			
授業内容	午前中は教科書にそって書かれた問題をグループメイトとディスカッションし、午後は新しいタスクが与えられ、最後にそれを発表するという形でした。		
試験・課題など	課題は一日で読まなければいけない量が本当に多くて大変でした。テストはなくレポートでした。		
感想を自由記入	自分はこの授業を落としました。毎日300ページほど読む、問題に答えて次の日はその日に与えられた問題に対し一日かけてグループで話し合い、プレゼンまで持って行くと言った毎日でした。求められていることが非常に高く、またディスカッションとプレゼンテーションの毎日だったのでかなり大変でした。ただこの授業でかなりの度胸と根性がついたと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Europe in the world		世界におけるヨーロッパ	
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences		
履修期間	5月～6月		
単位数	7.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が3回		
担当教授			
授業内容	数回の講義と、自分たちの国について発表し合う機会がありました。		
試験・課題など	レポート		
感想を自由記入	この授業は概ね日本の授業のような感じでしたが、最後に各国の人たちが自分たちの国のナショナリズムについて発表する機会があり、それはとても興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Swedish Model		スウェーデンモデル	
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences		
履修期間	9月～12月		
単位数	15		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授			
授業内容	スウェーデンにおける福祉政策と、福祉政策の歴史などを学びました。		
試験・課題など	数回のディスカッションと、レポートがありました。		
感想を自由記入	講義形式が多かったので、少し日本の授業のような感じでした。ディスカッションに向けて自国とスウェーデンの違いを考え、スウェーデン人にインタビューする課題があり、いろんな国の人のスウェーデンに対する意見を聞いて興味深かったです。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	
4月～7月	留学に行く手続きに追われました。航空券手配やビザ申請や保険など、意外と手間がかかりました。特にビザはよく注意して準備する必要があります。
8月～9月	スウェーデン語の授業が毎日ありました。友達を作るのに一生懸命な時期だったと思います。
10月～12月	本格的に授業が始まり、課題やグループワークに追われていました。11月初めには雪が降り始め、12月は本当に毎日暗かったです。
2013年 1月～3月	ヨーロッパの学生は半期で帰国する人が多く、私の友達もたくさん帰国してしまい、さみしい時期でした。後半のセメスターが始まると同時に、少し就職活動を意識し始めました。3月には何社かESを送ったりもしました。
4月～7月	あっという間に帰国する時期になっていました。就職活動の準備をしつつ、学校の課題をこなしたり、友人とお別れパーティーをしたりしました。 帰国後すぐに就活のイベントに参加し、7月には面接を受けていました。7月中旬に内定を頂き就職活動を終わりました。